

**平成30年度**  
**せきやど図書館及び関宿コミュニティ会館指定管理者管理運営状況調査**  
**担当課 興風図書館**

| 評価基準                                | 評価項目                    | 指定管理者<br>自己評価 | 担当課評価 | 特記事項 |
|-------------------------------------|-------------------------|---------------|-------|------|
| 利用者の平等利用が確保されること                    | ①平等利用確保への取組             | B             | B     |      |
|                                     | ②児童、障がい者、高齢者への配慮        | B             | B     |      |
| 施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること         | ①施設の利用促進に向けた取組          | B             | B     |      |
|                                     | ②地域の特性を活かした取組           | B             | B     |      |
|                                     | ③児童・青少年層への読書普及のための取組    | B             | B     |      |
|                                     | ④レファレンスサービス充実のための取組     | B             | B     |      |
|                                     | ⑤サービス向上のための取組           | B             | B     |      |
|                                     | ⑥自主事業の取組                | B             | B     |      |
| 個人情報の適切な保護が図られていること                 | ①個人情報保護のための取組           | B             | B     |      |
| 緊急時の危機管理体制が確立されていること                | ①施設の安全管理、緊急時の危機管理のための取組 | B             | B     |      |
|                                     | ②利用者の要望及び苦情への対応の取組      | B             | B     |      |
| 現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること            | ①現金の取扱い等の適切な経理処理についての取組 | B             | B     |      |
| 管理経費の縮減が図られるものであること                 | ①指定管理に係る経費の収支見込について     | B             | B     |      |
|                                     | ②管理経費縮減のための取組           | B             | B     |      |
| 地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際し、地元業者へ配慮すること    | ①地元住民の雇用及び地元業者への配慮      | B             | B     |      |
| 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること | ①人員配置について               | B             | B     |      |
|                                     | ②職員の指揮監督・管理体制について       | B             | B     |      |
|                                     | ③人材育成の取組                | B             | B     |      |

**総合所見**

指定期間の最終年度となる30年度は、各種の利用促進に向けた取組や、児童・青少年層への読書普及のための取組を通じて利用促進に努めたが、図書館の利用状況は30年12月末時点の前年同月比で個人貸出点数が1,166点、約1.5%減少した。

携帯端末や電子書籍等の普及による情報取得手段（メディア利用形態）の多様化の影響に加え、関宿地域の人口も減少傾向であることから、貸出点数増減のベースとなる個人利用登録者数が、30年12月末時点の前年同月比で-261人（約4.2%減）と減少していることが、貸出点数減少の原因として考えられる。

一方、コミュニティ会館の利用状況は、30年12月末の時点において、利用件数が前年同月比で79件（約9.8%）の増、利用人数も61人（約0.6%）の微増となった。

図書館と同様にエリア人口が減少している影響を受けてはいるものの、29年10月から30年5月まで行われたいちいのホール空調設備改修の影響で利用が減少した29年度と比較すると、30年度は件数及び利用人数ともに増加となった。

各評価項目については、指定管理者はすべての評価項目についてBと自己評価している。

利用促進に向けた事業や、地域の特性を活かした事業、児童・青少年層への読書普及のための事業など多様な各種の事業が実施されており、また、レファレンスサービスの充実のための取組や、サービス向上のための取組、個人情報保護のための取組、施設の安全管理、緊急時の危機管理のための取組、利用者の要望及び苦情への対応の取組、現金等の取り扱い等の適切な経理処理についての取組、指定管理に係る経費縮減のための取組、地元住民の雇用及び地元業者への配慮なども業務計画書のとおり適切に実施されており、未実施の事業や代替で実施した事業もないことから、担当課としてもすべての評価項目についてBと評価した。

なお、コミュニティ会館小ホールの利用者へのサポートとして、地域の文化団体である関宿文化連盟が主催する「芸術祭」や、関宿中央公民館の利用者が参加する「関宿中央公民館まつり」の開催の際には、舞台発表が滞りなく進行するように、小ホールに付帯する設備機器利用のサポートを行うなど、仕様書や提案事業にない取組として、今年度においても地域の文化的なイベントで裏方的に貢献し地域文化向上に寄与していることは評価できる。

人員配置、研修、施設の保守点検については、業務計画書のとおり実施されており、仕様書の水準を満たしていると認められる。

経費の収支見込は、収入が支出を上回っており余剰金が生じる見込みであるが、仕様書の要求水準を満たす業務が適正に行われていることから、収支状況は妥当なものと評価する。

また、指定管理者である株式会社図書館流通センターは、損益計算書によると営業利益、経常利益、純利益ともに黒字となっており、経営基盤は安定しているものと評価する。

総合所見として、図書館及びコミュニティ会館の利用が減少傾向にあるものの、利用促進に向けた取組が数多く行われており、全般的にはおおむね適正に管理運営が行われていると評価する。